

市事研究会報 おおさか翔

平成27年11月16日 発行 大阪市立小中学校事務研究会 会長 西尾 吉弘 編集 同事務局
ホームページアドレス : <http://www.y1.x312v.smilestart.ne.jp>

第23回 大阪市立小中学校事務研究大会

「つながろう！つながりから見える学校事務の向上」

～ 見つめよう学校教育 学校事務の視点から ～

11月26日(木) 大阪市教育センター

時程

13:10	13:30	14:00	15:30	15:45	17:00
受付	開会行事	記念講演	休憩	研究発表	

平成27年度11月26日(木)13時30分より、大阪市教育センター講堂にて「つながろう！つながりから見える学校事務の向上」～見つめよう学校教育 学校事務の視点から～を大会テーマに、第23回大阪市立小中学校事務研究大会を開催します。

＜記念講演＞

国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部 総括研究官 本多 正人 様を講師に迎え、「政策志向の学校事務管理論」と題しご講演いただきます。本多様は教育行財政、教育政策を専門とされており、記念講演では、提案型の学校事務職員によって担われる学校事務管理とはどのようなものかについてわかりやすくお話しいたします。

＜研究発表＞

学校の抱える課題が複雑化・多様化する中、学校事務職員の積極的な学校運営への参画が求められています。今回研究部では“提案すること”による学校運営への参画に焦点をあて、研究を行ってきました。

学校事務職員が、子どもたちの学びを豊かにするチームの一員として、どのように学校の課題解決に取り組めばよいのか。「提案型の学校事務職員を目指して」と題し、提案に必要な知識や能力、提案の事例などをもとに研究発表を行います。

ぜひご参加ください。当日会場でお待ちしております。

市連協報告

10月21日(水)大阪ユビキタス協創広場CANVAS(内田洋行)において大阪市立学校事務連絡協議会研修会を開催した。

はじめに、開会あいさつとして大阪市立高等学校事務研究会 会長 米田様より、市費学校事務職員の10年ぶりとなる新規職員採用により、今後の高等学校における学校事務を継承する兆しが見えてきたとのお話があった。

続いて、内田洋行営業課長 武様を講師に迎え、「アクティブラーニングや学校教育におけるICT活用について」と題して、ICTの活用や学校における導入事例といった内容について研修会を行った。学校におけるICTの活用として、①教職員のみがタブレットを使用する段階、②児童生徒がグループでタブレットを使用する段階、③児童生徒が1人1台タブレットを使用する段階の三段階における各自治体等の実践紹介があった。また、実際に電子黒板やタブレット端末を活用したアクティブラーニングの模擬授業体験や、マルチスクリーンや蔵書点検端末等の機器について施設見学を行い、ICT活用による教育的効果について理解を深めた。

その後、本研究会 東事務局次長より活動の報告、続いて大阪市立特別支援学校事務研究協議会 会長 京田様より大阪市立特別支援学校の府への移管について、大阪市立高等学校事務研究会 役員 足立様より生活保護制度をテーマとした実務担当者研修会の報告が行われた。

最後に、本研究会 西尾会長より閉会の挨拶で研修会を終了した。

幹事会報告

10月22日(木)大阪市教育センターにおいて幹事会を開催した。

1 今年度の活動について

- (1) 事務局 ・会報 186号 6月26日発行 ・会報 187号 7月29日発行
 - ・会報 188号 10月8日発行
 - ・第1回事務局・専門部合同研修会について報告(8月26日開催)
- (2) 研究部 ・11月26日(木)開催予定の第23回研究大会の研究発表に向け活動
- (3) 研修部 ・実務研修会を1月中旬～下旬頃開催に向け検討中

- ・パソコン研修会12月14日(月)開催予定

2 第23回研究大会について

- ・11月26日(木)
13時30分～研究大会を開催予定
- ・記念講演「政策志向の学校事務管理論」
- ・大会要項を発送(表面参照)

3 実務研修会について

- ・1月中旬から下旬に開催予定
 - ①学校給食費事務について
 - ②校内委員会について

4 業務連絡

- ・予算の適正執行について
- ・マイナンバーの取扱いについて
- ・平成25年度までの小学校未納給食費の収納にかかる取扱い変更について

5 その他

- ・11月13日 第24回大阪府公立学校事務研究大会
- ・12月 3日 第42回奈良県公立小中学校事務研究大会
- ・12月 4日 平成27年度京都市立学校事務研究大会／滋賀県公立小中学校事務研究大会
- ・1月26日 神戸市立小学校事務研究大会
- ・全事研会報221号配付

パソコン研修会

平成27年12月14日(月)

14時30分～受付

14時45分～開始

大阪市教育センター 5F 端末第1実習室

Excelに関する操作研修

(CSVファイルの取扱い・データの入力規則・関数・データベース機能の活用等)

定員 30名程度

全国公立小中学校事務職員研究会兵庫支部研究大会

10月9日(金)兵庫県民会館けんみんホールにおいて、「可能性を求めてはばたく学校事務 ― 発見・突破・前進―」を大会テーマに第7回全国公立小中学校事務職員研究会兵庫支部研究大会が開催された。

開会行事終了後、「学校事務職員の研修の在り方を追求する」と題し、研究部より研究発表が行われた。平成26年度の第6回全国公立小中学校事務職員研究会兵庫支部研究大会参加者を対象に、研修内容や研修に期待される効果等について、アンケート調査と分析を行い、研究部としての研修体系を作成した。その中で、「安全・安心な学校づくり」の観点から学校事務職員が果たす役割について、地域連携・協働も視野に入れた研究を進めるにあたり、研修モデルの主題を「防災」とし、研修モデル案の作成や講師による勉強会を実施した。今後は、「安全・安心な学校づくり」に学校事務職員として必要である「知識」「行動」「技能」の三つの観点から、実践・検証につなげ、研究を行っていくと研究発表を締めくくられた。

記念講演は、「学校現場における減災への取組」と題して、兵庫県立大学 総合教育機構 防災教育研究センター 准教授 馬場 美智子 様より、災害リスクと危機管理・リスクマネジメント、「自助(自分自身の安全を確保すること)」「共助(地域やコミュニティで助け合うこと)」「公助(市町村行政機関による支援)」について説明があり、まず自分の身を守るために複数の情報手段を持つておくことの重要性が述べられた。続いて、学校現場における防災・減災として、東北地方太平洋沖地震に伴う津波発生時の事例紹介があり、平常時に訓練を行い行動を身につけることで災害時に行動できること、さらに状況に応じて臨機応変に行動すること、様々な状況への対応策を「創造」することで対応力を高め「想定外」をなくすことの重要性が述べられた。また、いざという時の判断力や実行力を鍛えるための手段として、「クローズドノート」の紹介があった。最後に、「共助という視点や地域防災計画の中でも、小学校・中学校の担うべき役割は非常に大きい。平常時に保護者や地域と関係を築いていくことは、非常時にも有効である」と述べられ、大会は終了した。

編集後記

ここ最近で一気に肌寒くなり、やっと秋らしくなりました。秋といえば、研究大会です。皆様、ぜひご参加ください！会場でお待ちしています。(O)